

示して遺憾がない。
然るに評議会大会に於て現行れたる重要議案は産業
別管理問題と極東労働組合提携運動と起すの件とに
別際的労働組合提携を提唱する件が如きこれである。
従来日本に於ける労働組合が産業別整理を唱導して
来たのには不拘尚其の縮小つたかざりしを評議会七言に
於ては総聯合主義への第一歩としてこれを断行し産
業別管理代表として中央委員をさへ出すに至つた殊
に極東に於ける組合の提携や別際的組合を提携す
べく提唱する事等は(第一の労働者團結せよ)と云ふ
ル又主義の忠実なる奉仕者である事を知らねば
らぬ要するにその大々議案を通して兩者の態度を
見たとすは別際的労働者の階級意識を件へ殊に経
済我線を整備すること依つて進まうとするに對し
一は日本の立場から智識階級を包容して其の實生
活上の目前の改善に力を注ぐとせし事は明ら

乙 評議会、綱領について考察
評議会の綱領は従来の型を破つたものである即ち従
来の綱領の宣傳に使はれたものあるに反し此組合のそ
れは組合運動の政策と労働運動の根本方針と無産階
級に一目瞭然理解が出来た様に於てある例へば組合
運動の目的任務と云ふ事に就ては夫れが説明的に民
衆的の指針としてある全体を通じて、實際的進歩的であ
つて又評議会の方針を窺ひに足るものがあるから左
に之を掲げらる。
一 組合運動の目的
組織と闘争とに依つて資本の搾取に對抗し労働条件
を維持改善し生活の安定と向上を計り労働階級の完
全なる解放と合理公正なる社会生活を實現の爲め闘
争すること組合運動の目的である。

乙